10-1 九州地方とその周辺の地震活動(2020年5月~10月) Seismic Activity in and around the Kyushu District (May - October 2020)

気象庁 福岡管区気象台 Fukuoka Regional Headquarters, JMA

今期間,九州地方とその周辺で M4.0 以上の地震は 36 回, M5.0 以上の地震は 3 回発生した. こ のうち最大のものは,2020 年 6 月 14 日に奄美大島北西沖で発生した M6.3 の地震であった. 2020 年 5 月~10 月の M4.0 以上の地震の震央分布を第 1 図 (a) 及び (b) に示す. 主な地震活動は以下のとおりである.

(1) 薩摩半島西方沖の地震(M6.2, 最大震度3, 第2図)

2020 年 5 月 3 日 20 時 54 分に薩摩半島西方沖の深さ 10km (CMT 解による) で M6.2 の地震(最 大震度 3)が発生した. この地震は陸のプレートの地殻内で発生した. 発震機構 (CMT 解)は北西 - 南東方向に張力軸をもつ横ずれ断層型である. この地震の後, 1 週間程度やや活発な地震活動が 見られた.

(2)沖縄本島近海(沖永良部島付近)の地震(M4.9,最大震度4,第3図)

2020 年 5 月 23 日 04 時 33 分に沖縄本島近海(沖永良部島付近)の深さ 48km で M4.9 の地震(最 大震度 4)が発生した. この地震は,発震機構(CMT 解)が西北西-東南東方向に圧力軸を持つ逆 断層型で,フィリピン海プレートと陸のプレートの境界で発生した.

(3) 薩摩半島西方沖の地震(M4.3, 最大震度 4, 第 4 図)

2020 年 6 月 1 日 09 時 33 分に薩摩半島西方沖の深さ 9km で M4.3 の地震(最大震度 4)が発生した. この地震は地殻内で発生した.発震機構(CMT 解)は北西 – 南東方向に張力軸をもつ横ずれ断層 型である.

(4) 奄美大島北西沖の地震(M6.3, 最大震度 4, 第 5 図)

2020年6月14日00時51分に奄美大島北西沖の深さ165kmでM6.3の地震(最大震度4)が発生した. この地震はフィリピン海プレート内部で発生した.発震機構(CMT 解)はフィリピン海プレート が沈み込む方向に圧力軸をもつ型である.







第1図(b) つづき(2020年8月~10月, M≧4.0, 深さ≦700km) Fig. 1(b) Continued (August – October 2020, M≧4.0, depth ≦700 km).

5月3日 薩摩半島西方沖の地震

震央分布図 (1997年10月1日~2020年5月31日、 深さO~30km、M≧2.8) 2020年5月の地震を濃く表示、図中の発震機 構解はCMT解、図中の細線は水深500mを示す



震央分布図

(1919年1月1日~2020年5月31日、

深さ0~90km、M≧5.0)

2020年5月の地震を濃く表示

100km

1928年6月3日 M6.6

2020年5月3日

M6.2 今回の地震 2015年11月14日 M7.1

32° N

30° N

b

128° E

2020 年5月3日20 時54 分に薩摩半島西方沖の深 さ10km (CMT 解による)でM6.2の地震(最大震度3) が発生した。この地震は陸のプレートの地殻内で発生 した。発震機構(CMT 解)は北西-南東方向に張力軸 をもつ横ずれ断層型である。この地震の後、1週間程 度やや活発な地震活動が見られた。

1997 年 10 月以降の活動をみると、今回の地震の震 央周辺(領域 a)では、M4.0以上の地震が時々発生し ている。2015 年 11 月 14 日には M7.1 の地震(最大震 度 4)が発生し、鹿児島県の中之島(海上保安庁)で 30 cmの津波を観測している。

1919 年以降の活動をみると、今回の地震活動周辺 (領域b)では、1928年6月3日に M6.6の地震(最 大震度5)が発生している。



第2図(a) 2020年5月3日 薩摩半島西方沖の地震 Fig. 2(a) The earthquake west of the Satsuma Peninsula on May 3, 2020.

or a

130° E

6.0

5.0

	気象庁CMT	防災科研 (F-net)	USGS (W-phase	2)					
一元化震源 M6.2 深さ9km	W N E		(348, 88, -171) 257, 81, -2) P	Ţ					
Mw	6.0	6.0	5.9	USGS震源 M5.9					
深さ	10km	5km	12km	深さ10km					
	Global CMT	GEOFON							
	\bullet	0							
Mw	6.0	6.0							
深さ	12km	16m							
周辺の気象庁CMT解 周辺の防災科研(F-net)MT解 Period:2010/05/03 00:00-2020/05/03 20:54 2020/02/03,20:54:21.08 - 2020/05/03,20:54:21.08 (JST) N=13									
128'	129' 130'	7 33° 6 5 32° 100 31° 5 30 30° 100 10 20 30° 127°		-33° -400 -32° -400 -31° -400 -31° -700					

5月3日 薩摩半島西方沖の地震(各機関のMT解)



第 2 図 (b) つづき Fig. 2(b) Continued.



第2図(c) つづき Fig. 2(c) Continued.

5月23日 沖縄本島近海(沖永良部島付近)の地震

震央分布図 (1994年10月1日~2020年5月31日 深さO~150km、M≧2.5) 2020 年5月の地震を濃く表示 50**km** 図中の発震機構は CMT 解 で発生した。 а Δ 28° N 徳之島 М В 2019年12月18日 2**7°** N 47km M5.1 7.0 る)。 沖永良部島 6.0 回の地震。 5.0 2020年5月23日 沖縄自 48km M4.9 4.0 3.0 2.5 128° E 129° E 50km 領域 a 内の断面図 (A-B投影) (km) A В 28° N n 20 20 40 40 60 60 回の 80 80 τłb 27° N 100 2020年5月23日 100 M4.9 120 120 2019年12月18日 140 140 M5.1 80 領域 b 内のM-T図 м м 6 5 6

2020年5月23日04時33分に沖縄本島近海(沖永 良部島付近)の深さ48kmでM4.9の地震(最大震度 4)が発生した。この地震は、発震機構(CMT解) が西北西-東南東方向に圧力軸を持つ逆断層型 で、フィリピン海プレートと陸のプレートの境界 で発生した。

1994年10月以降の活動をみると、今回の地震の 震源付近(領域b)ではM5.0以上の地震が時々発 生しており、最近では2019年12月18日にM5.1の地 震(最大震度4)が発生している。

1973年1月以降の活動をみると、今回の地震の 震央周辺(領域 c)では、2008年7月8日にM6.1 の地震(最大震度5弱)が発生し、鹿児島県与論 町(与論島)のホテルの壁の一部破損や柱の石膏 ボード破損の被害が生じた(総務省消防庁によ る)。



第3図(a) 2020年5月23日 沖縄本島近海(沖永良部島付近)の地震 Fig. 3(a) The earthquake near Okinawajima Island on May 23, 2020.

2010

3

2

1995

2000

2005



2020年5月23日の沖縄本島近海の地震(M4.9、最大震度4)について強震波形による相関解析を行った結果、 既往相似地震グループの最新の地震として検出された(上図の●:今回を含めM4.9~5.1の3地震)*。 * 各観測点の波形の比較で得られたコヒーレンスの中央値が0.95以上の場合、相似地震として検出している。また、相似地震のグループ分け はコヒーレンスを用いて機械的に行っている。

溜渕功史・中村雅基・山田安之(2014):全国を対象とした客観的な相似地震の抽出,気象研究所技術報告,72,5-16.

[●]推定年平均すべり量等

	グループ 回数	TT HO M	震度		発生間隔		平均すべり量		
		凹釵	平均M	最大	最小	平均	最短	最大	(cm/年) 一
	★A	4	5.08	4	4	6.21	5.57	6.78	7.56
今回の地震	● B	3	4.97	4	4	8.00	7.32	8.69	5.27

すべり量推定には、モーメントマグニチュードと地震モーメントの関係式[Hanks and Kanamori (1979)]及び 地震モーメントとすべり量の関係式 [Nadeau and Johnson(1998)]を使用。得られた積算すべり量と経過時間から最小自乗法を用いてグループ毎の年平均すべり量を求めた。







6月1日 薩摩半島西方沖の地震



2020年6月1日09時33分に薩摩半島西方沖の深 さ9kmでM4.3の地震(最大震度4)が発生した。こ の地震は地殻内で発生した。発震機構(CMT解)は 北西-南東方向に張力軸を持つ横ずれ断層型であ

1997年10月以降の活動をみると、今回の地震の震 源付近(領域 a) では、M4.0以上の地震は発生して いなかった。近年では2019年6月11日にM2.9の地震 (最大震度2)が発生している。

1885年以降の活動をみると、今回の地震の震央周 辺(領域b)ではM5.5以上の地震が6回発生してい る。1913年6月29日にはM5.7の地震が発生し、がけ 崩れの被害が生じた。また、翌30日にはM5.9の地震 が発生し、山崩れ、家屋倒潰1などの被害が生じた (被害はいずれも「日本被害地震総覧」による)。

80

60

40

- 20

4

3

2

7

6

5

2020

2015

第4図(a) 2020年6月1日 薩摩半島西方沖の地震 Fig. 4(a) The earthquake west off the Satsuma Peninsula on June 1, 2020.



6月1日薩摩半島西方沖の地震

第4図(b) つづき Fig. 4(b) Continued.



第4図(b) つづき Fig. 4(b) Continued.



奄美大島北西沖の地震 6月14日

2020年6月14日00時51分に奄美大島北西沖の深 さ165kmでM6.3の地震(最大震度4)が発生した。 この地震はフィリピン海プレート内部で発生し た。発震機構(CMT解)はフィリピン海プレートが

1997年10月以降の活動をみると、今回の地震の 震源付近(領域b)では、2017年8月16日にM5.7

1919年以降の活動をみると、今回の地震の震央 周辺(領域 c) では、M6.0以上の地震が6回発生 している。1981年1月3日にはM6.6の地震(最大

2020

第5図 2020 年6月14日 奄美大島北西沖の地震 Fig. 5 The earthquake northwest off Amami-oshima Island on June 14, 2020.